



株式会社さが美  
(東証1部:8201)

2018年2月期第1四半期  
決算説明資料





I.	会社概要	p.2
II.	決算概要	p.9
III.	中期経営計画	p.14
IV.	業績予想	p.17
V.	株主メモ	p.19

A decorative horizontal banner featuring a traditional Japanese ink wash painting style. It depicts a pond with ripples, a colorful butterfly, and various flowers in shades of pink, purple, and yellow.

# I . 会社概要



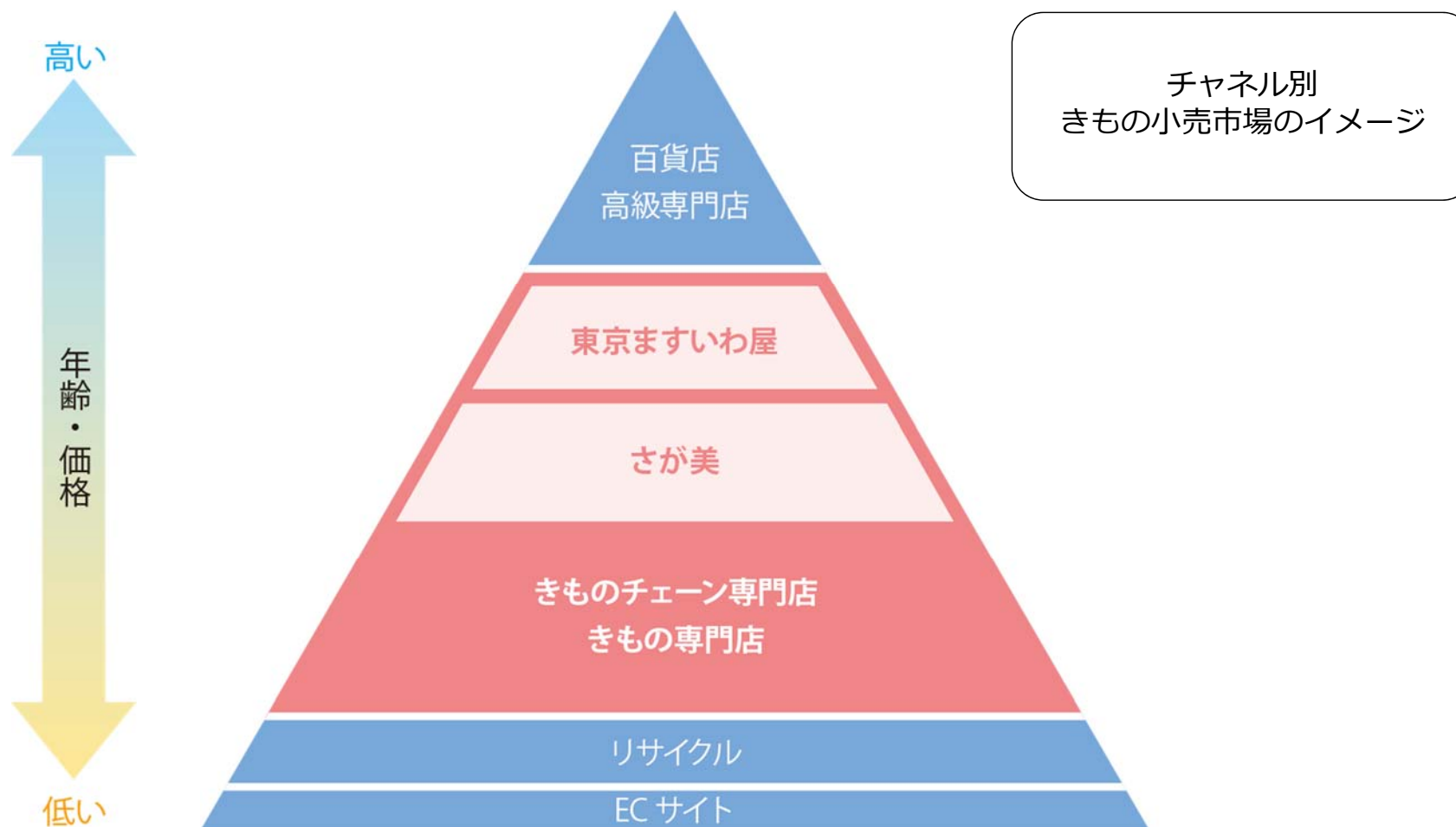
商号	株式会社さが美
証券コード	8201
上場市場	東証1部（1985年10月東証2部上場、1991年8月東証1部上場）
決算	2月末日
設立	1974年4月15日
事業内容	きもの・宝飾品の販売、振袖・袴の販売、レンタル、リサイクルきものの販売 着付け教室の運営等
資本金	52億58百万円
本社所在地	〒254-0013 神奈川県平塚市田村8丁目21番9号 TEL 0463-52-0850
代表者名	平松 達夫
事業所	店舗 163店（さが美：120店舗、東京ますいわ屋：43店舗）
社員数	892名（さが美：624名、東京ますいわ屋：268名、パートタイマー等を含む）
連結子会社	株式会社東京ますいわ屋（きものを主要業務とした専門店チェーン）
主要株主	アスパラントグループ株式会社（持ち株比率 55.5% 自己株除く）2017年2月20日現在

（2017年5月20日現在）



## さが美グループの事業領域

- ・高品質な正絹きもので単価10万円から30万円の価格帯を中心に販売
- ・外国で生産されているきものやインクジェットのきものなど低価格帯中心ではなく、本物の手仕事や国内産地の商品を中心に販売





## 当社事業の強み

### 業界におけるポジション

- ◆ きもの市場規模2,785億円（矢野経済研究所調べ2016年）に対し、さが美グループは126億円（きもの・和装小物の小売。宝飾品等は含まず）の売上高があり、4.5%の市場シェア。
- ◆ きもの業界No.1の店舗数（163店舗）と年間延べ60万人以上の利用があり、国内産地ブランドを意識した高品質で価格訴求力の高いきもの開発と販売、質の高いサービスを提供。

### 商品戦略

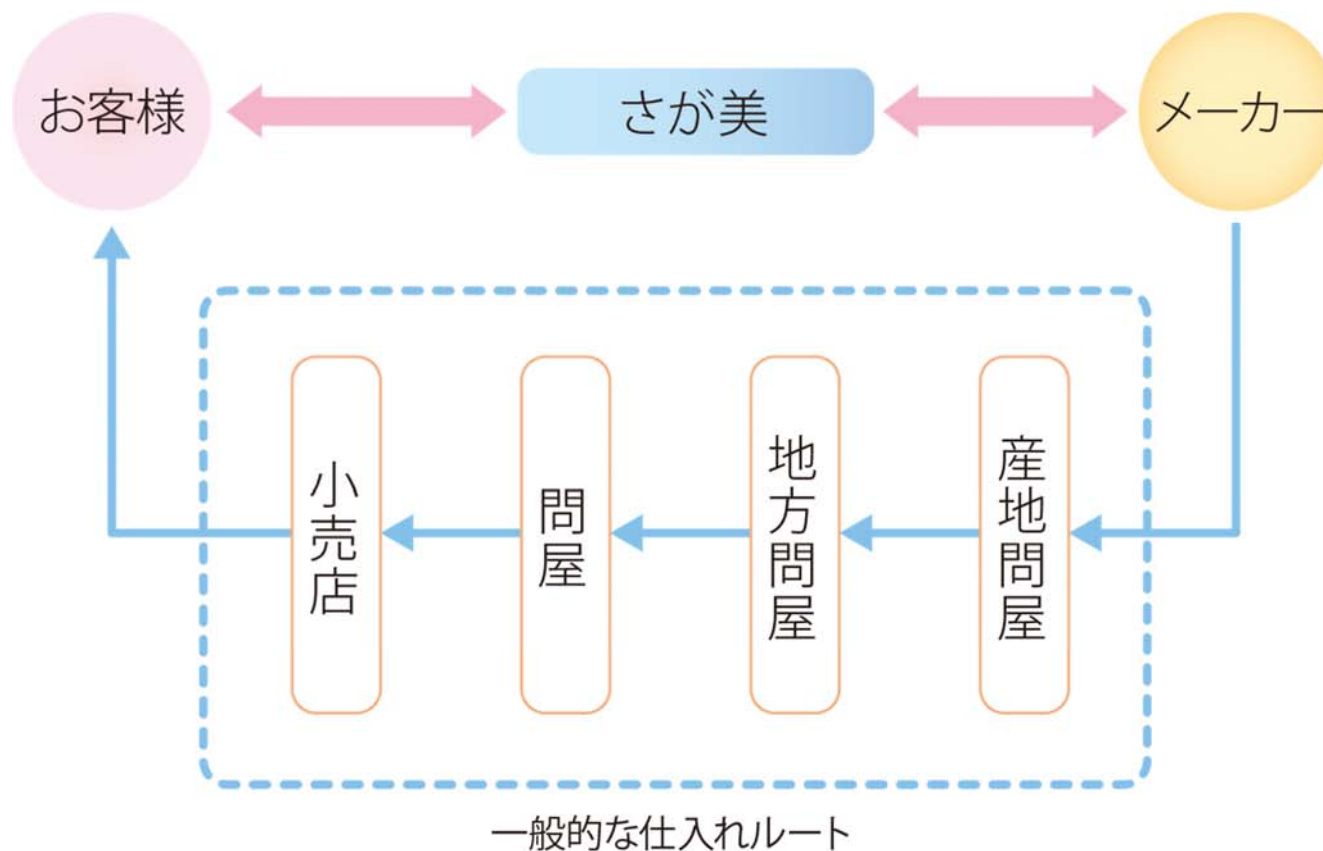
- ◆ きもの全般、和装小物等のフルラインの商品構成であり、若年層から年配層まで幅広いお客様層がターゲット。
- ◆ 業界大手としての、きもの産地との協力体制による付加価値の高い商品仕入れ。
- ◆ メーカーとの共同開発で、付加価値の高いオリジナル商品をご提供。
- ◆ レンタルは振袖、卒業袴を一部店舗で取り扱い、今後取扱い店舗を拡大予定。
- ◆ リサイクル商品はさが美に併設する「蔵三味」のほかに、店外展示販売会や不定期の店舗企画により販売。

### サービス戦略

- ◆ きものお手入れを推進。「京洗い」を含むお手入れ全体で年間約18万点を受注。きものを着る機会の増加やタンス在庫の活性化につながり、新たな需要を創造。
- ◆ きものを着る機会の提供。店舗単位で「お出かけ会」などの企画を実施。
- ◆ カルチャー事業の着付け、和裁教室の展開。



きもの業界No.1の店舗数を持つさが美ならではの企画力、提携によるメーカーとの共同開発で、付加価値の高いオリジナル商品を、リーズナブルな価格にてお客様へご提供



## メーカーとの共同開発

染色

デザイン

素材（生地）

織り物

加工（刺繍、絞り等）

仕立て



## ◆ きものは、着ることを高く意識する伝統文化

現代生活は、便利、速い、入手しやすいが基本にあります。

「きもの」はその反対で、手間と時間がかかり、それなりに費用のかかる伝統文化です。（他の例：茶道、華道、書道、陶芸等の習い事）

## ◆ 伝統文化とは、わかりにくさもある世界

きものは、習い事に似て、色、柄合わせなど、決まりごとやTPOがあり、現代生活にはなじみの薄いこともあります。

（そのため、インターネット購入は初心者にはむずかしい。）



## さが美グループの人材の強み

- 文化的で高度な説明ができ、わかりにくい世界をわかりやすくご案内、ご提案できる社員が多くいます。
- きものは初めてのお客様がご自身で選ぶことは難しい。例えば、フォーマルな留袖を着るには、留袖の種類、帯、付随小物の組み合わせや、色、柄の組み合わせ等が必要です。購入したいきもののコーディネート、不安や疑問を解決できる人達の存在が重要です。

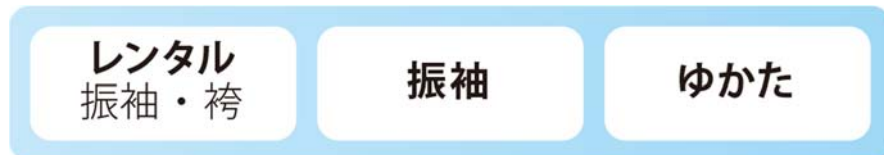




## さが美グループが注力している文化的説明、 慣習を踏まえた提案を必要とするフルラインの商品群、サービス



### 高度な説明、提案をあまり必要としない商品群



A decorative banner featuring a traditional Japanese ink wash painting style. It depicts a pond with ripples, a butterfly, and various flowers in shades of pink, purple, and yellow.

## Ⅱ. 決算概要



# 2018年2月期第1四半期 決算概要



- ◆ 第1四半期は例年季節要因により売上水準が低く、また当第1四半期は前年同期比でホームファッション事業からの撤退により営業収益および販管費が減少

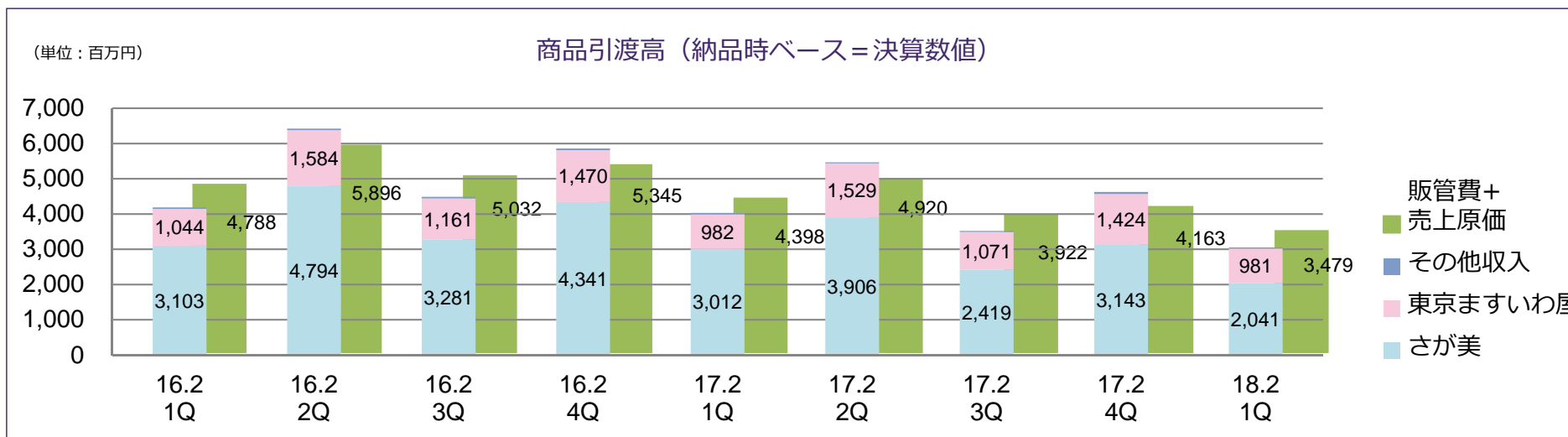
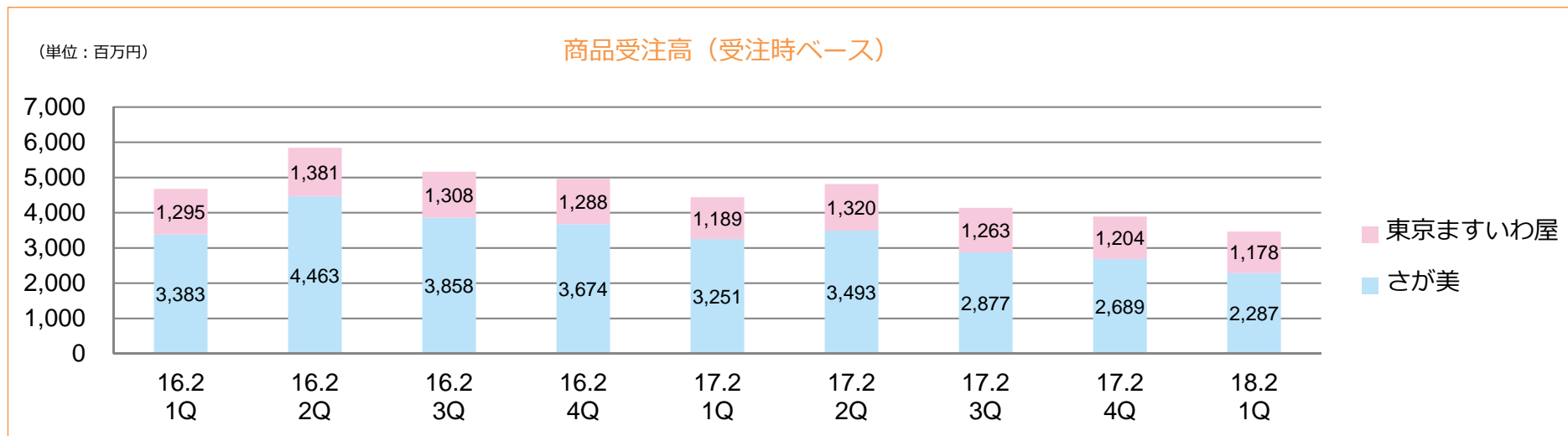
(単位：百万円)

	2017年2月期 1Q	2018年2月期 1Q	増減率 (%)	2018年2月期 連結予想	1Q進捗率
営業収益 [売上高+営業収入]	4,032	<b>3,051</b>	-24.3%	16,459	18.5%
営業総利益 [売上総利益+営業収入] (営業総利益率)	2,270 (56.3%)	<b>1,752</b> (57.4%)	-22.8%	9,767 (59.3%)	17.9%
販売費及び一般管理費 (売上販管費率)	2,635 (65.4%)	<b>2,180</b> (71.4%)	-17.3%	9,452 (57.4%)	23.0%
営業利益 (営業利益率)	▲365 (-9.1%)	<b>▲427</b> (-14.0%)	-	315 (1.9%)	-
経常利益 (経常利益率)	▲342 (-8.5%)	<b>▲437</b> (-14.3%)	-	255 (1.5%)	-
当期純利益 (当期純利益率)	▲350 (-8.7%)	<b>▲462</b> (-15.2%)	-	56 (0.3%)	-
EPS (1株当たり当期純損益)	▲8.84円	<b>▲11.67円</b>	-	-	-
ROE (自己資本利益率)	-7.8%	<b>-7.9%</b>	-	-	-

\* 各項目の率は営業収益で除しています。



# 商品売上高（受注、引渡）の四半期毎推移



- ◆当社においては、通常、商品受注から売上計上（商品引渡）まで、仕立加工を施す必要があることから30日～50日の差が生じます。
- ◆1Qは季節要因により商品受注高の水準が低く、2Qは大きな展示販売会があるため受注の水準が高くなる傾向があります。
- ◆商品引渡金額は、2月と8月の決算月にあわせて、お客様への納品促進に努めていますので、2Qと4Qの数値が増加しています。

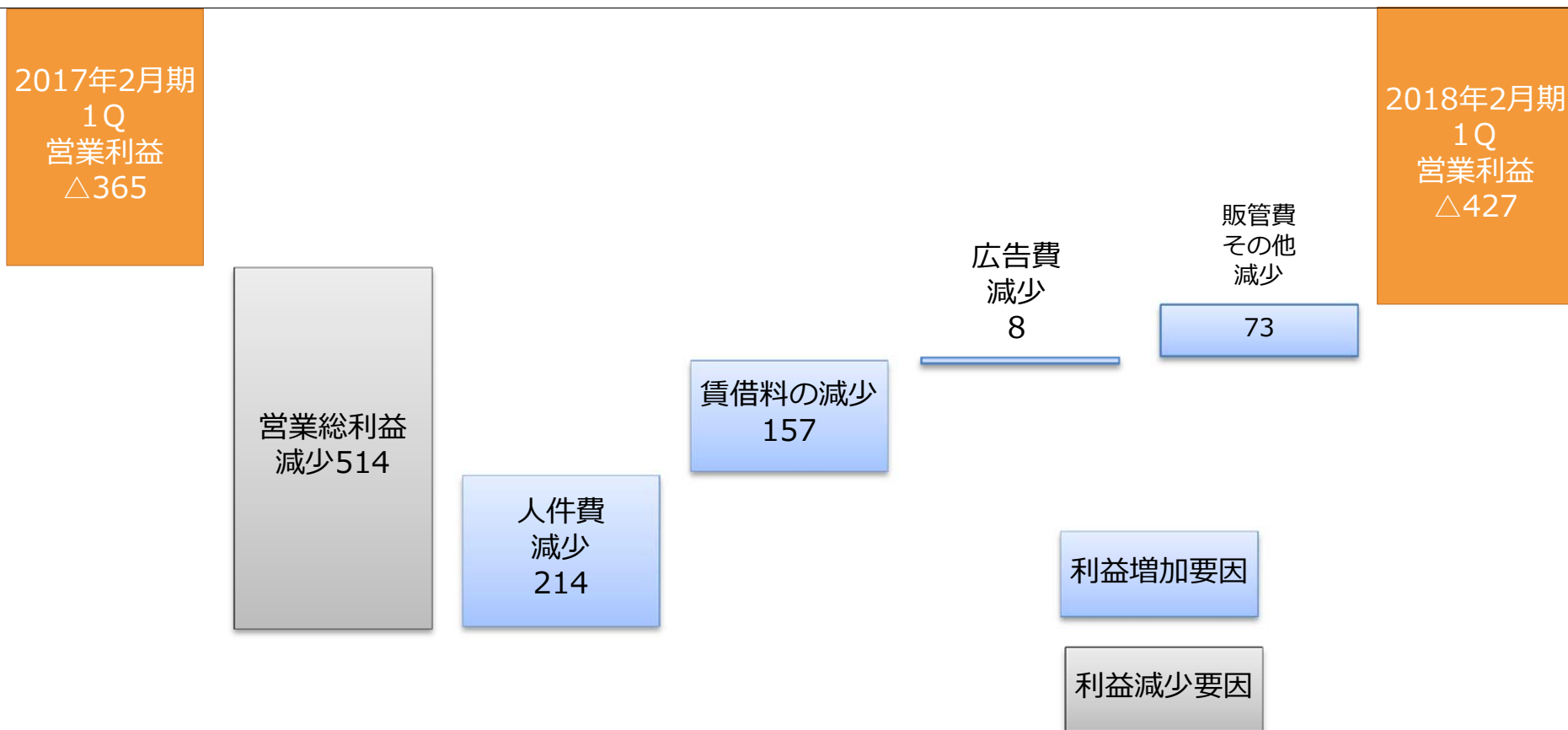


# 営業利益（連結）の増減要因について

2018年2月期第1四半期

ホームファッション事業の撤退  
不採算店舗の閉店

営業総利益の減少  
> コストの減少



(単位：百万円)




# 2018年2月期第1四半期 貸借対照表



(単位：百万円)

	2017年2月期	2018年2月期 1Q	前期比増減額	主な増減要因
流動資産合計	5,883	<b>4,995</b>	-888	主として現金及び預金が親会社への借入金返済により1,061百万円減少
有形固定資産	3,446	<b>3,459</b>	+13	
無形固定資産	18	<b>18</b>	-0	
投資その他資産	2,076	<b>2,042</b>	-33	
固定資産合計	5,541	<b>5,521</b>	-20	
資産合計	11,425	<b>10,516</b>	-908	
流動負債	4,425	<b>3,769</b>	-656	未納品の増加等により前受金が334百万円増加 親会社の借入金返済等により短期借入金が800百万円減少
固定負債	890	<b>1,097</b>	+207	銀行借入金が200百万円増加
負債合計	5,315	<b>4,867</b>	-448	
純資産合計	6,109	<b>5,649</b>	-460	
負債純資産合計	11,425	<b>10,516</b>	-908	
自己資本比率	53.5%	<b>53.7%</b>		

A decorative horizontal banner with a traditional Japanese floral pattern. It features pink and purple flowers, green leaves, and a small blue and orange butterfly. The background is a light, textured grey.

## Ⅲ. 中期経営計画



## 中期経営計画における指標

2017年2月期立案 → 3年後、2019年2月期に営業利益率3%を目指す

## 中期経営計画のための戦略

- 1、事業構造改革
- 2、きもの事業収益構造改革
- 3、経費削減改革
- 4、組織・人事制度改革

以上を推進し、経営資源をきもの事業に集中し、黒字体質への変換を成し遂げます






# 中期経営計画 進捗状況



1、事業構造改革	ホームファッション事業からの撤退	完了
	きもの事業の不採算店舗閉鎖	完了
	本社移転	完了
2、事業収益構造改革	顧客分析システムのデータを商品開発等へ活用	2018年2月期1Q 購買推移を分析し、ニーズ、提案力アップに活用 2018年2月期2Q 商品開発分析を行うための現状調査、企画設計を開始
	売上総利益率の向上に向けて、重点対策店舗の設定	2017年2月期より継続 商品付加価値の向上により、販売価格・販売値引き率を調整 2018年2月期計画 重点店舗対策
	1店舗年商1億円のチェーンを目指して大型店強化	2018年2月度1Q 大型店向けに通常の3倍の売上高を目標とした企画を実施中
	不動産収入の拡大	2018年2月度3Q 本社移転跡地利用
3、経費削減改革	グループ経営体制の強化による業務効率の改善	2018年2月度1Q 現状調査及び企画設計を開始、2018年4Qより展開目標
	店舗別採算に基づく利益体制の構築	2018年2月度 計画中
4、組織・人事制度改革	業績連動型給与の導入による制度改革	2018年2月期3Q 契約社員の給与について業績反映部分を拡大
	人材育成と教育体制の充実	2018年2月度 計画中

A decorative horizontal banner with a traditional Japanese floral pattern, featuring pink and purple flowers and a butterfly. The text "IV. 業績予想" is centered on this banner.

## IV. 業績予想



# 2018年2月期業績予想

(単位：百万円)

	2017年2月期	2018年2月期	前期比増減額	増減率 (%)
営業収益 [売上高+営業収入]	17,626	<b>16,459</b>	-1,167	-6.6%
営業総利益 [売上総利益+営業収入] (営業総利益率)	10,240 (58.1%)	<b>9,767</b> (59.3%)	-473	-4.6%
販売費及び一般管理費 (売上販管費率)	10,016 (56.8%)	<b>9,452</b> (57.4%)	-564	-5.6%
営業利益 (営業利益率)	224 (1.3%)	<b>315</b> (1.9%)	+91	+40.3%
経常利益 (経常利益率)	201 (1.1%)	<b>255</b> (1.5%)	+54	+26.3%
当期純利益 (当期純利益率)	1,479 (8.3%)	<b>56</b> (0.3%)	-1,423	-96.2%

\*各項目の率は営業収益で除しています。

- ◆ 売上高が減少予想となっているのは、2017年2月期に実施したホームファッション事業からの撤退、きもの事業の不採算店舗閉鎖による影響です。2017年2月期の売上高には、撤退したホームファッション事業657百万円、きもの事業不採算店舗分1,187百万円が含まれています。

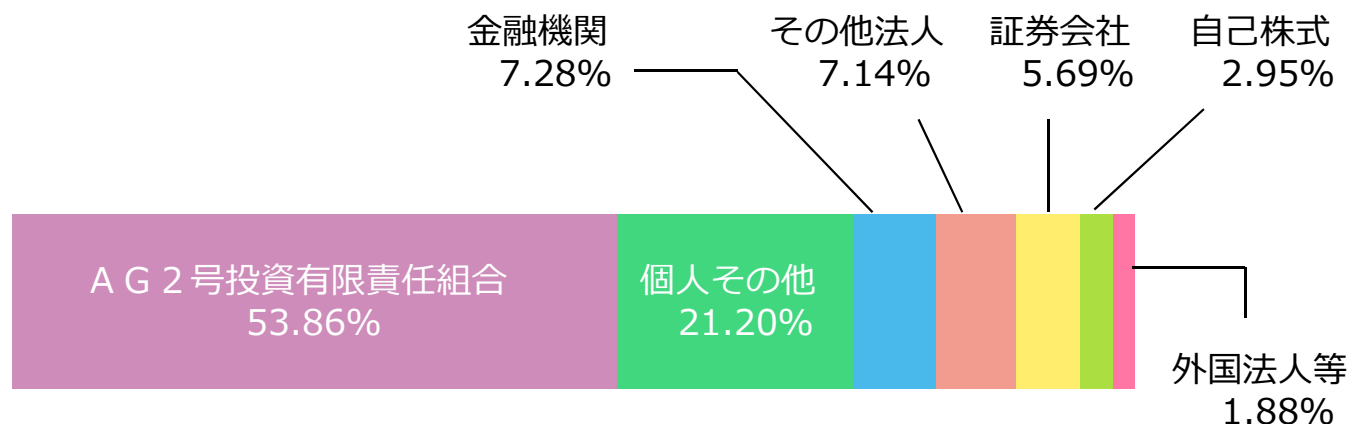


# V. 株主メモ





## ◆株式分布状況および主要株主（2017年2月20日現在）



## ◆配当政策

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要施策のひとつと位置づけており、会社の競争力を維持するための投資をおこない、財務体質の強化を図りつつ、業績に見合った利益配分をおこなうことを基本方針としております。

2017年2月期におきましては、2012年2月期から5期続いた営業利益・経常利益の赤字から脱却し、黒字となりましたが、安定して利益の出る企業と評価されるには至っていないことから、当該事業年度の配当を見送りました。

2018年2月期におきましては、引き続き営業利益・経常利益の黒字化を達成し、財務的にも安定化を図り、今後の利益配分に備えてまいります。



当社は、2017年5月16日開催の第43期定時株主総会終結の時をもって、取締役会の監督機能の強化によるコーポレート・ガバナンスの充実の観点から、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へと移行いたしました。

## ◆取締役9名のうち2名が社外取締役・独立役員

- |          |       |                  |       |
|----------|-------|------------------|-------|
| ・代表取締役社長 | 平松 達夫 | ・取締役（監査等委員／常勤）   | 井倉 育夫 |
| ・常務取締役   | 須山 耕一 | ・取締役（監査等委員／独立社外） | 藤田 尚子 |
| ・取締役     | 宿野 大介 | ・取締役（監査等委員／独立社外） | 松本 好弘 |
| ・取締役     | 西脇 秀雄 |                  |       |
- (株式会社東京ますいわ屋 代表取締役社長)
- |      |       |
|------|-------|
| ・取締役 | 中村 彰利 |
|------|-------|
- (アスパラントグループ株式会社 代表取締役社長)
- |      |       |
|------|-------|
| ・取締役 | 浜田 康彦 |
|------|-------|
- (アスパラントグループ株式会社 プリンシパル)

